

# 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

## 平成31年己亥 住職年頭挨拶



# 己亥

### 謹賀新年

明けまして、おめでとうございます。檀信徒皆様の、平安と多幸を心より祈念申し上げます。

顔をあげて 奥歯を噛みしめ  
両足をふんばって まっすぐ一本道  
を ひたすらに歩み続ける  
疲れたら とりあえず一休みし  
倒れたら また起き上がり 失敗したら あやまってやり直し  
成功しても 有頂天にならず いつも感謝の念を忘れず  
縁により結ばれた大切な人達と 情けをかけあいながら  
一緒に生きていく

こんなふうに人生歩めたら ほとけ様と同じになれるんだろうな  
とても無理かもしれないけれど とりあえず 今年も少しずつ努力  
してみよう

年頭にあたり 住職はこのように思っています

本年も宜しくお願い申し上げます 合掌

石川県・大本山總持寺祖院に於て拜登諷經導師をつとめる住職



### 平成31年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈祷・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/10 大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13~7/16 新暦盂蘭盆会  
京浜地区檀信徒棚経
- 7月下旬(一泊二日)  
第38回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- 10月 檀信徒研修旅行
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

※毎週水曜日 定例坐禅会

※隔週水曜日

梅花講・華道教室

## 平成三十一年 回数表

一周忌	平成三十年	二十三回忌	平成九年
三回忌	平成二十九年	二十七回忌	平成五年
七回忌	平成二十五年	三十三回忌	昭和六十二年
十三回忌	平成十九年	五十回忌	昭和四十五年
十七回忌	平成十五年	百回忌	大正九年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。  
 ※2 該当檀信徒各家には、封書にて通知が届きます。  
 (但し、五十回忌・百回忌を除く)

## 仁叟寺住職 曹洞宗群馬県宗務所 所長任期満了

平成26年12月10日に、当山住職が曹洞宗群馬県宗務所長を拝命いたしました。4年の任期が終了し、昨年12月10日を以て退任いたしました。4年間に亘る県内曹洞宗宗務行政を司り、更には平成29年に梅花部60周年及び青年会55周年を記念した授戒会を主催。戒師として180名を超える戒弟に授戒をいたしました。また同年夏には、日航機墜落事故物故者三十三回忌慰霊法要を宗派の垣根を超え、修行いたしました。平成28年秋には群馬県が当番県となり、関東管区婦人会研修会が当山仁叟寺を会場に開催され、ネルケ無方老師を講師として招き、関東各都県より350名を超える参加者をお迎えいたしました。



↑授戒会で戒師を勤める住職

宗務所は所会・護持会・梅花部・布教部・保育部・寺族会・婦人会・青年会・人権擁護推進委員会などの部会を統括し、多くの行事や研修会・会議等が開かれ、更に県内御寺院様の事務行政のほか、慶弔会等にも随喜いたしました。ほか、全国宗務所長会の監査も拝命し、両大本山様は勿論、本庁や関東管区での公務もつとめさせていただきました。



↑日航機三十三回忌導師を勤める住職

4年に亘った所長任期も無事満了いたしました。95歳になりました前住職・渡辺隆司東堂も宗務所長を、また先代の渡辺石橋大和尚も同じ任に当たり、宗門の為におつとめを果たして参りました。任期中には、宗務所役職員始め多くの関係各位に多大なるご法助ご協力を賜りましたこと、深く感謝しております。有難うございました。また当山檀信徒に於かれましては、住職の公務によりご不便をお掛けした場面もあったかと思いますが、ご理解いただきたく存じます。

## 市文化財保護課研修会～多胡古墳群保全に向けて～



↑プロジェクターを使い判り易い研修を行う角田先生

8月30日、仁叟寺にて高崎市教育委員会文化財保護課により、当地に遺されている多胡古墳群の保全に向けた研修会が開催されました。地元飯塚邦広高崎市議会議員をはじめ関口区長、当山総代人、地区環境保全に取り組んでおります近隣住民20名ほどが集い、講師の角田先生による講話を伺いました。その後、多胡古墳群実地の視察を行いました。当地は、古くは多胡碑に代表されるよう多胡郡が置かれ、東国の中心地「毛のクニ」として栄えておりました。その為、多くの古墳が遺されておりますが、昭和の高度経済成長期の開発により県内3分の1に当たる古墳が消滅したと云われております。仁叟寺周囲には、多胡古墳群はじめ下條、神保、矢田といった古墳群が遺されており、当山には多胡古墳群の一つから発掘されたという奈良時代と伝わる古剣一対も現存します。江戸時代中期に住職をつとめていた21世東翁豊運大和尚により、その来歴も墨書にて記録され、貴重な文化財です。多胡古墳群は、里山再生事業の山林地に隣接している場所でもあります。是非とも、この大切な古墳群の保全に向け、後世にしっかりと引き継いで、歴史を伝えて参りたいと考えております。

古剣一対（仁叟寺蔵）



## 宗務所檀信徒研修～大本山永平寺・總持寺祖院・永光寺～

昨年11月5日～7日にかけて、曹洞宗の聖地である北陸の大本山永平寺（福井県）、大本山總持寺祖院、永光寺（石川県）を訪れました。

県内各地より大型バス4台、寺院・檀信徒162名の参加を得て行われました。初日は、飛騨高山まつりの森で屋台や山車を見学し、芦原温泉に宿泊いたしました。

二日目は、七百年に及ぶ老杉に囲まれた大本山永平寺にて、小林監院老師のご挨拶の後、浅見法話担当僧侶より「ありがとう」の心を持って日常生活を過ごす事が大切である旨のお話を聞き、感動しました。その後、法堂に於いて、監院老師を導師に、約百名の僧侶による先祖供養が厳粛に執り行われました。次に、瑩山禪師開山の永光寺を参拝し、和倉温泉に宿泊いたしました。

三日目は、大本山總持寺祖院を参拝いたしましたが、平成19年3月25日に発生した能登半島沖地震で、大被害を受け全国の寺院及び檀信徒の寄進による大修理が行われていました。今回の研修会は、宿泊先等で懇親も図ることが出来、非常に有意義な思い出となりました。



↑ 寄稿・森久総代人（中央）  
（於、永平寺山門）撮影・金田藤男氏  
↓ 紅葉の大本山永平寺様



本研修旅行は、群馬県宗務所と同護持会主催の行事で、仁叟寺からは矢島総代長始め10名がご参加下さいました。森久総代人の寄稿及び金田藤男氏の写真にて、ご報告とさせていただきます。

## 高崎市指定避難所・仁叟寺にて地区避難訓練



去る8月19日、高崎市吉井町第13区の自主防災組織が中心となりまして、高崎市指定避難



↑ 本堂にて挨拶・講話

所であります当山にて地域防災避難訓練を実施いたしました。第13区のほか地元多胡小校区の皆様、消防団、行政及び社協、警察署、第一テクノ、仁叟寺総代役員の皆様100名程が集い、訓練を実施しました。

本堂での研修は関口正樹第13区長が司会をつとめ、住職、地元警察署長、消防団長による防災及び防犯についてのお話をいただきました。引き続き、第一テクノ向井敏昭様より発電装置についての説明、地元消防団様及び消防署様より消火器を使った消火訓練と仁叟寺にも設置しておりますAED装置の訓練を行いました。最後に仁叟寺に常備しております簡易トイレの説明を行い、その後、東日本大震災被災地にて振る舞った事のある食事とカキ氷を参加者皆さんで召し上がっていただきました。関口区長を中心に、関係各位にはお世話になりました。天候よく、盛会に地域の避難訓練が多くの組織団体企業のご協力のもと、今回も実施することが出来ましたことに感謝しております。

→  
↓ 訓練風景



## 長野県佐久市 信永院晋山結制退董式 圓成



昨年10月13日～14日の二日間に亘り、仁叟寺末寺である長野県佐久市望月の信永院様に於いて晋山結制退董式が修行されました。晋山とは新しく住職を迎える就任式、結制とは大和尚となる式、退董とは前住職が東堂となる退任式の意であります。



### ↑ 信永院新命・渡辺俊司住職

信永院は仁叟寺四世莊山道巖大和尚が開山、武田家家臣の望月氏が開基となり天正年間に創建されました。本堂前には仁叟寺榿の木の子株と伝わる樹齢400年の榿が聳え、本尊は釈迦牟尼仏。新住職は当山住職の次男である渡辺俊司師です。請われて家族で転居し、凡そ9年。93歳になる内山宏志前住職始め檀信徒の皆様方と話し合いを重ね、本慶事法要を修行いたしました。

### ↑ 鬼気迫る禅問答

首座には隣寺・城光院様のお弟子さんで在家より発心し、僧侶となった松本師が、可愛い辨事役の和尚さんは、俊司師長男で小学校1年生の颯司君が、その任に当たりました。寺檀一如という言葉通り、多くの檀信徒が式に集い、また近隣のご寺院様も手厚くご協力をして下さい、260名程の関係各位が見守る中、前住職慰労と新住職誕生の祝賀の大法会を、盛会裏にお勤めする事が出来ました。



西堂と呼ばれる一番重要なお役は、本寺である仁叟寺住職がつとめ、禅問答等の力量を讃え新住職としての証明となる白槌を撞きました。当山からは、副住職のほか寺族、檀家代表として矢島正義総代長、サンコー72カントリークラブ寺本欣一治社長、結婚式師をつとめた長昌寺様、親戚寺院の向雲寺様が参列賜りました。

### ↑ 辨事・颯司君

## 各種研修参禅会修行

毎年恒例の仁叟寺子供坐禅会も昨年で第37回目を数えました。夏休みの暑さ厳しい8月に、50名近い子供達が参加。本年も夏休み期間中に、第38回子供禅の集いを修行予定です。

さて、昨年6月には恒例の高崎経済大学究禅会坐禅会（5名）、7月には群馬銀行行員研修坐禅会（109名）、9月には東京栄養食糧専門学校学生坐禅会（90名）、10月には桜美林大学尾川ゼミ研修坐禅会（19名）が修行されました。特に桜美林大学の坐禅会は、ゼミ生に仁叟寺子供禅の集いの経験者があり、世界遺産の富岡製糸場見学や吉井地区での稲刈り体験を含めた一泊二日の日程で企画。半数が米国・中国・台湾からの留学生であり、寺院に宿泊し、その生活を体験する良い機会に恵まれたとの御礼も頂戴いたしました。

ほか、副住職が毎週水曜日夜に行っております定例坐禅会も本年で18年目となりました。禅に関心興味のある方は、是非ご参禅下さい。



### ↑ 第37回子供禅の集い記事

## 高崎市里山元気再生事業報告



奉仕作業役員集合写真



↑色づいてきた植樹もみじ  
(昨年12月 栗原俊文氏撮影)

仁叟寺の竹林を整備し、地元と檀信徒の方々のご協力をもって行っております高崎市の補助事業、里山元気再生事業が昨年度末で期間満了となりました。伐採した竹林は既に7,000本以上。その跡地には、モミジやサクラおよそ300株を植樹し、参道脇に多くの山野草や福寿草を植栽いたしました。なお、作業に当たっては、特に関口正樹区長さん、矢島巖さん、金井正男さん、加藤壮士さん、金田一男さん、小澤昇さん、吉井晃さん、井上正俊前総代長、井上澄子さん、仁叟寺総代人世話人各位に、ご尽力ご協力をいただきました。

市補助事業は終了しましたが、引き続き仁叟寺総代会役員会等に併せ、昨年も7月～9月の第一日曜日の計3回に亘り、奉仕作業を行いました。植樹した木々が、しっかりと根付くよう、下草刈りや篠竹刈り等の作業を地元の方々と共にやり、汗を流しました。

当地には、歴史を物語る古墳も多数遺されており、また山内全景や上毛三山、吉井市街等が見渡せる風光明媚な場所。里山再生に相応しい「もみじ山歴史古墳公園」に向けた整備が、着々と進められております。引き続きのご理解ご協力、宜しくお願い申し上げます。

## 自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～



①慰霊供養(南相馬市下渋佐寄添い地藏前)  
②ボランティア作業風景(南相馬市小高区)

去る11月26～27日に掛けて、東日本大震災被災地域である福島県に伺って参りました。本年も恒例となった物故者慰霊法要を南相馬市新祥寺様本堂及び津波被害物故者供養塔前2箇所にて修行。奉仕作業を、副住職ほか群馬県曹洞宗青年会有志11名と福島県曹洞宗青年会の光英元会長ほか有志3名、合計14名で、被災地域である、南相馬市小高地区にてつとめさせていただきました。

今回も南相馬市の新祥寺野田精頭副住職に窓口になっていただき、慰霊及び作業に当たって準備を行っていただきました。有難うございました。

此の度は、南相馬市小高区の除草作業、ビニールハウス撤去等を福島県群馬県両県青年会員が力を合わせ行い、皆と共に汗を流しました。

早いもので本年3月11日で、丸8年が経過いたします。風化させることなく、出来る人が出来る時に出来る事を行う。引き続き、これからも協力をさせていただければと考えております。

## 総代長新年挨拶

### 新年明けましておめでとうございます

新しい年を迎え、おめでとうございます。昨年は、仁叟寺の様々な行事について、皆様のご支援助け協力を賜り、感謝申し上げます。特に、仁叟寺里山の草刈り整備等、何回もご苦労いただき、もみじ・桜・山野草も成長してきました。もう少し皆様のご協力をいただければ、素晴らしい里山になると思われま

す。さて、仁叟寺住職は、群馬県曹洞宗宗務所長を任期四年、お勤めになり、多大な功績を残し、12月に退任いたしました。「仁叟寺ここにあり」と感謝申し上げます。私も、5月に群馬県曹洞宗宗務所護持会長を退任することになります。仁叟寺の名誉を汚さぬよう、努めてまいりました。

次に、10月20日から21日の2日間、仁叟寺の末寺である長野県佐久市の曹洞宗金峰山信永院の晋山結制式・退董式に檀信徒を代表して参列してきました。この寺の新住職さんは、仁叟寺住職の次男である渡辺俊司さんです。今までの住職が引退し、渡辺俊司住職が誕生する式です。引退した内山宏志住職は93歳であり、最高の引退式になったと思われま

す。私が、信永院の檀信徒の皆様とお会いし、俊司新住職の話をお聞きしました。誰もが、この日を

※矢島正義総代長には、昨秋の信永院様晋山結制退董式についての感想を書いていただきました。仁叟寺檀信徒を代表し、サンコー72カントリークラブ寺本欣一治社長様と共に参列して貰いました。有難うございました。

### 檀信徒の皆様へ

住所等の変更がありましたら、必ず菩提寺までご連絡を下さいますよう、お願いいたします。

## 行雲流水（編集後記）

新年、明けましておめでとうございます。

当山寺報『山雲水月』も気付きましたら50号を超え51号となりました。山内の行事や出来事を判り易く伝える事を主眼に、編集作業に当たっております。原稿の依頼をさせて戴きました方には、この場を借りて御礼申し上げます。さて、建設が進む龍源寺本堂。愈々、今春に落慶の運びとなりました。まだまだ不安な点は多々ございますが、皆様方の更なるご協力をお願い致します。合掌

筆者・矢島正義総代長  
群馬県宗務所護持会長



楽しみにしていたとのことでした。今日この日の為に、檀信徒の皆さんと子供も含めた新住職家族は、一緒になって本堂の畳

を何度も何度も拭いたそうです。柱もどこもかしこも綺麗になっていました。この式の参加者は、御寺院さん60名、檀信徒と関係者約200名の合計260名もの盛大な式です。式が行われ、俊司新住職が誕生する流れの中で、俊司住職の問答の受け答え、落ち着いた適切な導き等、感銘を受けました。檀信徒の皆様可愛がられ、信頼される理由も判りました。

今年は、毎秋の恒例行事であった仁叟寺の檀信徒研修旅行を復活し、是非とも金峰山信永院へ行く旅程であって欲しいと強く願っております。また、檀信徒皆様の奮ってのご参加を重ねてお願い申し上げます。合掌

### 仁叟寺総代人一同

矢島正義	新井徳衛	篠崎和男
森久	神保堯男	酒井範明
向井敏昭	三木和夫	神保武長

編集人 副住職 渡辺龍道



龍源寺新本堂（昨秋撮影）